

取扱説明書番号
D168-RGXD

室内用

電波時計 取扱説明書

(掛置兼用デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

(Y2405)

*印は販売店記入

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにてお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより、修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

リズム総合サポート

https://rhythm.jp/support/

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号(型番)をご確認ください。例: 8RZ○○○

お客様相談室:0120-557-005 受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

● **誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない**
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

● **電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る**

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

● **梱包用のポリ袋をかぶらない**
窒息する恐れがあります。

● **電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない**

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにてお問い合わせください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

● **電池の⊕⊖を正しく入れる**
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

● **強い振動や衝撃を与えない**
故障や破損の原因になります。

● **浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない**
さびや故障の原因になります。

● **ぬれた手でさわらない**
さびや故障の原因になります。

● **分解や改造をしない**
けがや故障の原因になります。

● **液晶から漏れた液に素手でさわらない**
液晶が破損して漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けんで洗い流してください。

● **下記のような場所では使わない**
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。 ●ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を生じさせる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

■電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

●一部の電池は、形状的に本製品には不向きなものがあります。(例: Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■電池の寿命について

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

● **電池からの液漏れにより、修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。**

- 液晶表示が薄くなったときには、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 古い電池と新しい電池、マンガンとアルカリ電池を混ぜて使用しない。
- 動いていても1年に1回定期的に交換する。
- 電池の⊕⊖を逆に入れない。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。

●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

●壁に掛けて使用した場合、静電気により、製品や壁が汚れることがあります。定期的に汚れを落としてください。

製品、電池の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、電池はテープなどで絶縁してください。

GUARANTEE	
保証書	
※品名・型番	
※保証期間	お買い上げ 年 月 日より 1年間
お客様	ご氏名 様
	ご住所
	TEL() -
※販売店印(所在地、店舗名、電話番号)	

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参ください。無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

- ネット通販をご利用の場合は、領収書やレシートなど、購入日が確認できる記録を添付してください。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報は、修理・調整に関するご連絡にのみ利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について ※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますのでご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化。(製品の小さな汚れなど)
8. 電池の交換。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はかね山標準電波送信所」の2カ所にあります。

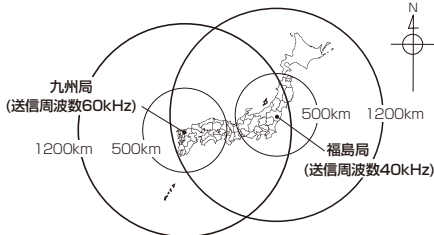
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外でのご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

温度湿度表示

本製品は、一般的な家庭やオフィスの室内用です。

次のような場所では使用しないでください。

○屋外、温室、サウナ、プール、温泉、浴室、冷蔵庫、車の中。

○直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。

※設置する高さによっても温度・湿度が変わります。一般的な室内の低い位置では温度は低く、湿度は高くなります。

※湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところと悪いところでは違いがでできます。

※センサーが時計内部にあるため、周囲の温度、湿度の変化をすぐには反映しません。 ※厳密な温湿度管理や温湿度の証明、商取引には使えません。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度 「HH.H」 50℃を超える高温 「LL.L」 -9.9℃未満の低温

湿度 「HH」 95%RHを超える多湿 「LL」 20%RH未満

「-」測定不能 (温度が5~50℃の範囲外)

「%RH」は相対湿度を表しています。天気予報など一般的には「%」で表示されることが多いです。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10~50℃ *結露しないこと
液晶表示可読温度	0~40℃
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒 温度が5~35℃のときのクォーツ精度
使用電池	単3形マンガン乾電池 JIS規格 R6P 2個 ※単3形アルカリ乾電池を使用することができます。
電池寿命	約1年 1日当たり、アラームを30秒鳴らしたとき
防塵防滴	なし

標準電波	標準電波を受信して日付・時刻を修正
受信局	福島局/九州局自動選択
受信回数	1日8回
受信開始時刻	1時~4時、13時~16時 各時間帯の16分40秒に開始
受信ON/OFF	あり

アラーム機能	セットした時刻にアラームが鳴る	カレンダー	2011~2099年対応
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒	六曜	2011~2030年対応
アラーム音	電子音	温度表示	-9.9~50℃
スヌーズ	5分間アラーム音一時停止	湿度精度	±2℃
オートストップ	2分でアラーム音停止	湿度表示	20~95%RH
音量調節	なし	湿度精度	±10%RH

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。温度が0~40℃になれば正常に戻ります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。 ※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。 ※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

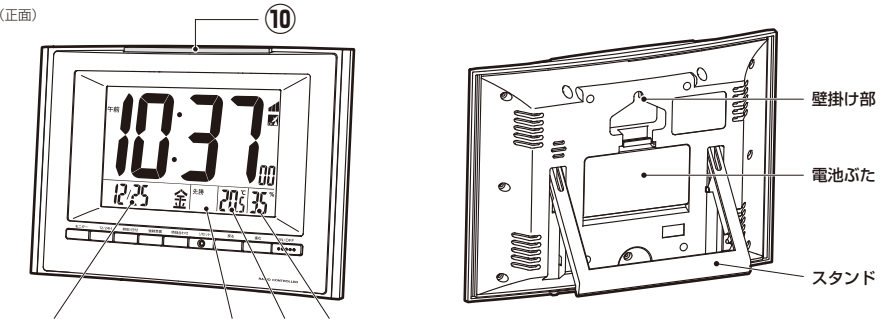
付属品 木ねじ 1個、保証書 1枚

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

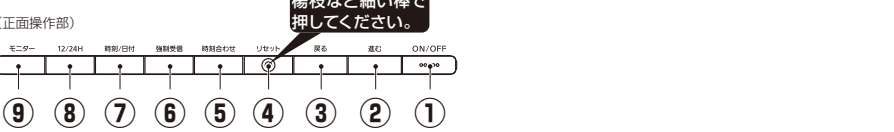
電池は付属しておりません。単3形乾電池を2個ご用意ください。

各部の名称と役割

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



時計正面より見てください。液晶は見る方向により薄くなったり、ムラになったり見えます。



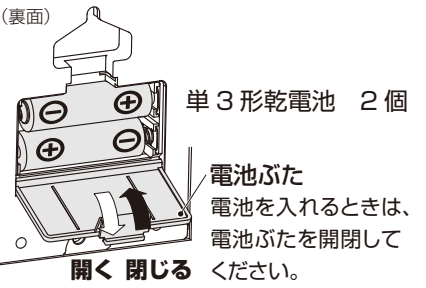
- ①アラーム ON/OFF — 押すたびにアラームの ON/OFF が切り替わります。
- ②進む — アラーム時刻や手動で日時を合わせるときに使用します。
- ③戻る — 押してすぐ離す 押し続ける
- 進む 1つ進む 早送り
- 戻る 1つ戻る 早戻し
- ④リセット — 電池を入れた直後や誤作動したときに押します。
- ⑤時刻合わせ — 手動で日時を合わせるときに使用します。
- ⑥強制受信 — 受信機能が ON のときに押すとすぐに受信を開始します。
- ⑦時刻/日付 — 現在時刻と日付の表示位置を切り替えるときに押します。
- ⑧12 / 24H — 時刻の表示形式を切り替えます。
- ⑨モニター — アラーム音を試聴するときに押します。
- ⑩スヌーズ — 鳴っているアラームを約5分間停止します。

1 電池を入れて標準電波を受信して日時を合わせる

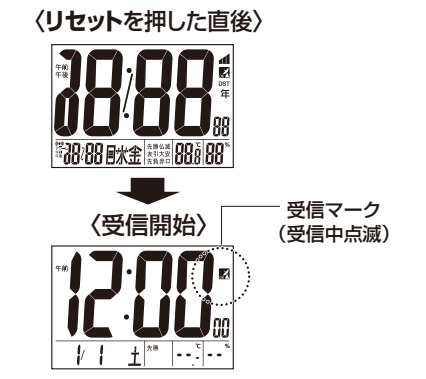
標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**手動での時刻合わせ** をお読みください。

注意

電池の⊕を指示と逆向きに入れると電液漏れ、発熱、破裂の危険があります。

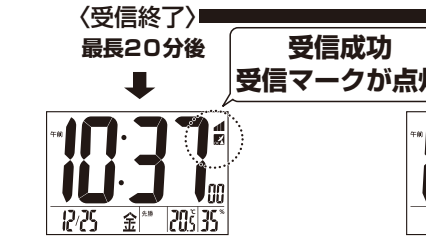


【受信の流れと表示】



電源投入直後およびリセットを押した直後は、2011年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

受信マークの変化（電波サーチ機能）電波の状態により変化します。



- 受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。
- 受信に成功しても、電氣的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてリセットを押して再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くように置き直し、リセットを押して結果を確認します。

手動での時刻合わせ ……電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

ボタン操作により、手動で日時を合わせることができます。このときの時間精度は、平均月差 ±30 秒のクォーツ精度になります。

- 電波受信機能がONの場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。 **電波受信機能のON/OFF操作** 参照
- 約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、時刻合わせを終わります。
- アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時を設定できません。

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定します。

- 点滅している数値を進むまたは戻るを押して合わせます。
- 時刻合わせを押すと次に進みます。

操作例. 2015年12月25日 午前10:37に合わせる

① 設定を開始する

② 西暦年

③ 月

④ 日

⑤ 時

⑥ 分（秒）

⑦ 時刻合わせを押して設定を終わります。

西暦年が点滅するまで時刻合わせを約2秒間押し続ける。

進むまたは戻るで「2015」年に合わせて時刻合わせを押す。

進むまたは戻るで「12」月に合わせて、時刻合わせを押す。

進むまたは戻るで「25」日に合わせて、時刻合わせを押す。

進むまたは戻るで「10」時に合わせて時刻合わせを押す。

進むまたは戻るで「37」分に合わせる。このとき進むまたは戻るを押すたびに「00」秒に設定されます。

12時間表示のときは、午前/午後の表示に注意してください。

2 アラーム機能を使う

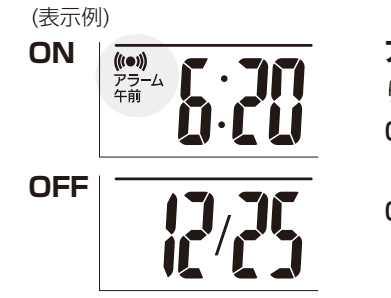
アラーム時刻を合わせる



- ①アラーム ON/OFF を押してアラームマーク(🔊)を消す
※アラーム状態*のときは設定できません。
- ②進むまたは戻るを押してすぐ離す
「アラーム」が点灯してアラーム時刻が点滅。
- ③進むまたは戻るでアラーム時刻を合わせる
- ④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

*アラームが鳴っているあるいはスヌーズ機能によりアラームが一時停止している状態。

アラームのON/OFF設定



- アラーム ON/OFF を押すとONとOFFが切り替わります。
- ON 設定時刻にアラームを鳴らすアラームマーク(🔊)を表示。
- OFF 止める、鳴らさないアラームマーク(🔊)が消える。

アラームオートストップ（自動鳴り止め）

鳴っているアラームを放置すると約2分で止まります。アラームの状態はONのままです。アラームがONのままでは毎日アラームが鳴りますので、必要がないときはアラームをOFFにしてください。

スヌーズ機能（止めてもまた鳴る）

アラームが鳴っているときにスヌーズを押すと、アラームマークが点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴り出します。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズを押すと、アラームは止まり、アラームマークは点灯表示になります。

アラーム音の試聴（モニター）

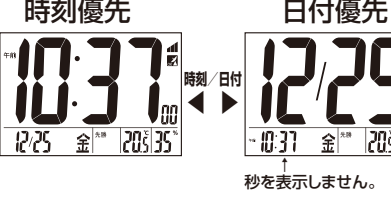
モニターを押すと約2分間アラームが鳴ります。途中で止めるには、モニターを押してください。

電波の受信中、日時、アラーム時刻の設定中、アラーム状態のときは使えません。

3 表示の切り替え

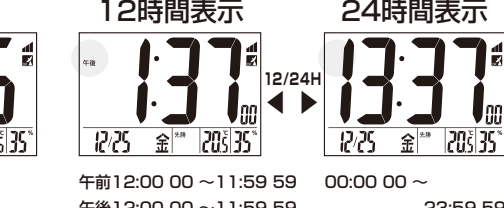
表示位置の切り替え

時刻 / 日付を押すと時刻と日付の表示位置が入れ替わります。



時刻表示形式の切り替え

12/24Hを押すと午前/午後付の12時間表示と24時間表示が切り替わります。

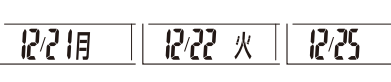


次の状態のときは、表示の切り替えが出来ません。

- 電波の受信中 ●アラーム音を試聴中 ●アラーム状態 ●アラーム時刻、日時の設定中。

曜日の位置について

図のように曜日により、表示位置が変わります。

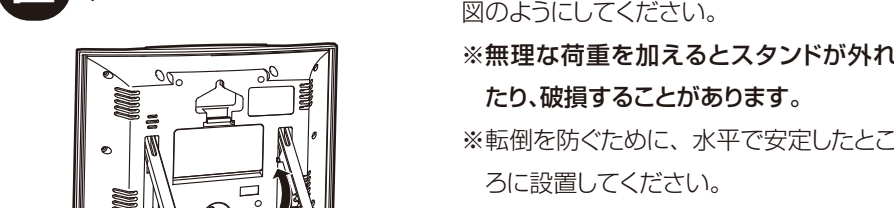


六曜について

旧暦の月と日から導きだされ、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6種類があります。六曜は慣習として使われていますが公的な機関が定めたものではありません。○六曜は2011～2030年まで対応。2030年以降は表示されません。

設置について

置く



置いてご使用になるときは、スタンドを図のようにしてください。
※無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。
※転倒を防ぐために、水平で安定したところに設置してください。

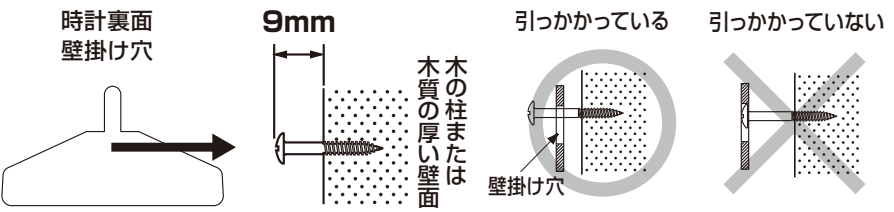
掛ける

注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。
- ※掛けるときは、スタンドを収納してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF（無効にして手動で時刻を合わせる）
リセットを約1秒間隔で3回押してください。○「ビィ」と鳴ってから押してください。○OFFになると「ビィ」と鳴りません。○日付と時刻は手動で合わせてください。

リセットと強制受信操作

リセット
電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2011年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00になります。受信機能がONのときは、受信を開始します。

強制受信
場所を移動したときなどに、強制受信を押すと受信を開始します。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。次のようなときは受信を開始しません。

- アラーム状態のとき
- 手動で時刻またはアラーム時刻を設定しているとき
- 受信機能がOFFになっているとき

静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示の一部が欠けるなど正常に機能しなくなることがあります。このようなときはリセットを押してください。